



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月15日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舩田正一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	2,634	△7.7	△96	—	△18	—	△17	—
2020年6月期第2四半期	2,853	△3.4	△44	—	△40	—	△34	—

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 △16百万円(—%) 2020年6月期第2四半期 △34百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	△4.35	—
2020年6月期第2四半期	△8.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	2,527	327	12.0
2020年6月期	2,197	343	14.6

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 303百万円 2020年6月期 320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,231	△2.1	△120	—	△13	—	△31	—	△7.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年6月期2Q	5,076,000株	2020年6月期	5,076,000株
2021年6月期2Q	1,026,552株	2020年6月期	1,026,552株
2021年6月期2Q	4,049,448株	2020年6月期2Q	4,049,448株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年7月1日から2020年12月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、依然として厳しい状況で推移いたしました。緊急事態宣言解除後は、段階的に経済活動が再開され景気に持ち直しの動きが見られたものの、足下では再び感染者数の増大傾向が見受けられ景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループはコロナ禍による影響への各種対策を講じてまいりましたが、一部にその効果は出たものの業績の回復までには至らず、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,634,016千円(前年同期比7.7%減)、営業損失は、主に上述の売上減の影響により、96,692千円(前年同期は44,755千円の損失)、経常損失は18,474千円(前年同期は40,374千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は17,601千円(前年同期は34,513千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,483,612千円(前年同期比6.3%減)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2020年7月から2020年11月までの取扱件数は微増となった一方で売上高は減少傾向で推移しており、引続き葬儀単価の低下に加えコロナ禍によって、参列者の減少や葬儀規模の縮小に拍車がかかり売上は減少している状況です。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、特に大都市圏において「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いており、地方都市におきましてもこの傾向が徐々に顕在化しております。

このような状況の中で、当事業では、葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売をスタートいたしました。その効果が顕在化するには至らず、またコロナ禍による原価高騰が影響し営業利益は90,943千円(前年同期比43.3%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当期間におきましては、販売単価は上昇傾向にあったもののコロナ禍の影響により輸入販売数量が減少し、売上高は852,102千円(前年同期比2.1%減)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2021年1月)によると、2020年7月から2020年12月までの切花累計の取扱金額は28,490百万円(前年同期比2.9%減)、数量では397百万本(前年同期比6.7%減)と金額ベース、数量ベースともに減少傾向にありました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みを実行しつつ、合わせてコロナ禍の影響を最小化すべく利益確保に向けた取引に注力した結果、営業利益は22,997千円(前年同期比139.3%増)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大により2020年3月以降結婚式の延期が続き、90,533千円(前年同期比43.5%減)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、未だ大きな市場規模が保持されております。このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける新規顧客獲得と商圏拡大、リテール部門での更なる売上増、及び販管費の圧縮・効率化策を実施いたしました。上記コロナ禍による売上減が大きく影響し、営業損失は44,234千円(前年同期は6,313千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、各事業ともにコロナ禍の影響により総じて低調に推移したため、売上高は207,768千円（前年同期比13.4%減）、営業損失は25,903千円（前年同期は2,139千円の利益）となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。農業は、花卉の生産・販売を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ330,502千円増加し、2,527,749千円となりました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ346,816千円増加し、2,200,136千円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ16,314千円減少し、327,613千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの影響により、2021年6月期の連結業績予想につきましては、合理的に算出することが困難であったため未定としておりましたが、国内外の現在の経済状況を踏まえ、当第2四半期連結累計期間の業績ならびに現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定しましたので公表いたします。

なお、今後、新型コロナウイルスの感染拡大状況等が変化し、業績に与える影響が大幅に変動すると見込まれる場合には、連結業績予想の修正を適切に公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,921	941,319
売掛金	384,697	569,422
商品	25,010	19,494
仕掛品	7,639	3,163
原材料及び貯蔵品	29,996	50,749
その他	39,084	41,893
貸倒引当金	△9,622	△3,293
流動資産合計	1,255,726	1,622,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	646,341	644,969
減価償却累計額	△261,400	△273,348
建物及び構築物(純額)	384,940	371,620
車両運搬具	31,202	31,210
減価償却累計額	△26,972	△27,547
車両運搬具(純額)	4,230	3,663
工具、器具及び備品	149,188	151,388
減価償却累計額	△133,599	△135,915
工具、器具及び備品(純額)	15,588	15,472
土地	221,393	221,424
その他	15,826	15,826
減価償却累計額	△9,498	△10,058
その他(純額)	6,327	5,767
有形固定資産合計	632,479	617,948
無形固定資産		
のれん	11,680	10,846
その他	20,721	14,057
無形固定資産合計	32,401	24,903
投資その他の資産		
差入保証金	52,816	52,461
保険積立金	191,916	186,215
破産更生債権等	19,061	11,602
その他	24,311	23,183
貸倒引当金	△11,467	△11,316
投資その他の資産合計	276,638	262,147
固定資産合計	941,520	904,999
資産合計	2,197,247	2,527,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,196	244,986
短期借入金	400,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	203,810	192,172
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	70,797	48,367
未払法人税等	8,520	12,891
未払費用	114,274	114,658
賞与引当金	11,977	11,260
資産除去債務	10,000	10,000
その他	123,042	102,777
流動負債合計	1,065,718	1,244,214
固定負債		
社債	14,500	10,950
長期借入金	683,185	856,924
リース債務	9,510	4,869
退職給付に係る負債	63,132	65,905
資産除去債務	17,272	17,272
固定負債合計	787,601	955,921
負債合計	1,853,319	2,200,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	194,188	176,587
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	320,851	303,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	△48
その他の包括利益累計額合計	△32	△48
非支配株主持分	23,109	24,412
純資産合計	343,927	327,613
負債純資産合計	2,197,247	2,527,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,853,160	2,634,016
売上原価	2,423,096	2,316,837
売上総利益	430,064	317,179
販売費及び一般管理費	474,820	413,871
営業損失(△)	△44,755	△96,692
営業外収益		
受取利息及び配当金	23	18
受取賃貸料	715	524
補助金収入	2,769	78,813
為替差益	1,464	2,351
その他	4,708	2,952
営業外収益合計	9,681	84,659
営業外費用		
支払利息	4,627	5,685
その他	672	756
営業外費用合計	5,300	6,441
経常損失(△)	△40,374	△18,474
特別損失		
固定資産除売却損	2,671	1,000
災害による損失	8,559	-
特別損失合計	11,231	1,000
税金等調整前四半期純損失(△)	△51,606	△19,474
法人税、住民税及び事業税	4,596	5,722
法人税等還付税額	-	△8,898
法人税等調整額	△21,689	0
法人税等合計	△17,092	△3,176
四半期純損失(△)	△34,513	△16,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	1,302
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,513	△17,601

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△34,513	△16,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	△16
その他の包括利益合計	51	△16
四半期包括利益	△34,462	△16,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,462	△17,617
非支配株主に係る四半期包括利益	-	1,302

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△51,606	△19,474
減価償却費	29,903	25,721
災害による損失	8,559	-
のれん償却額	-	834
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,811	△6,479
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,859	△717
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,893	2,773
受取利息及び受取配当金	△23	△18
受取賃貸料	△715	△524
補助金収入	△2,769	△78,813
支払利息	4,627	5,685
固定資産除売却損益(△は益)	2,671	1,000
売上債権の増減額(△は増加)	△125,450	△177,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,452	△10,761
仕入債務の増減額(△は減少)	123,906	128,790
その他	△20,606	△41,214
小計	△26,392	△170,464
利息及び配当金の受取額	35	18
賃貸料の受取額	715	524
補助金の受取額	2,769	78,813
災害による損失の支払額	△8,559	-
利息の支払額	△4,675	△5,569
法人税等の支払額	△4,658	△9,077
法人税等の還付額	5,191	16,138
営業活動によるキャッシュ・フロー	△35,573	△89,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	191	157
有形及び無形固定資産の取得による支出	△42,372	△5,659
有形及び無形固定資産の売却による収入	10,471	1
保険積立金の積立による支出	△17,459	-
保険積立金の払戻による収入	-	5,791
差入保証金の差入による支出	△7,637	△1,254
差入保証金の回収による収入	22,201	2,518
その他	△20	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,625	1,554
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	100,000
長期借入れによる収入	40,000	267,000
長期借入金の返済による支出	△162,004	△104,899
社債の償還による支出	△3,550	△3,550
配当金の支払額	△12,148	-
その他	△8,973	△8,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,323	250,460
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16,875	162,398
現金及び現金同等物の期首残高	625,380	778,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	608,505	941,319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年9月25日 定時株主総会	普通株式	12,148	3.00	2019年6月30日	2019年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,582,558	870,676	160,087	2,613,321	239,839	—	2,853,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,693	417,470	839	422,003	17,858	△439,862	—
計	1,586,251	1,288,146	160,926	3,035,325	257,698	△439,862	2,853,160
セグメント利益 又は損失(△)	160,360	9,611	△6,313	163,658	2,139	△210,554	△44,755

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△210,554千円には、セグメント間取引消去25,139千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△235,693千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,483,612	852,102	90,533	2,426,248	207,768	—	2,634,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,317	436,113	1,123	441,554	18,708	△460,263	—
計	1,487,930	1,288,215	91,657	2,867,803	226,476	△460,263	2,634,016
セグメント利益 又は損失(△)	90,943	22,997	△44,234	69,706	△25,903	△140,495	△96,692

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△140,495千円には、セグメント間取引消去27,077千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△167,572千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大による影響に関する会計上の見積り及び仮定並びに業績への影響について、重要な変更はありません。